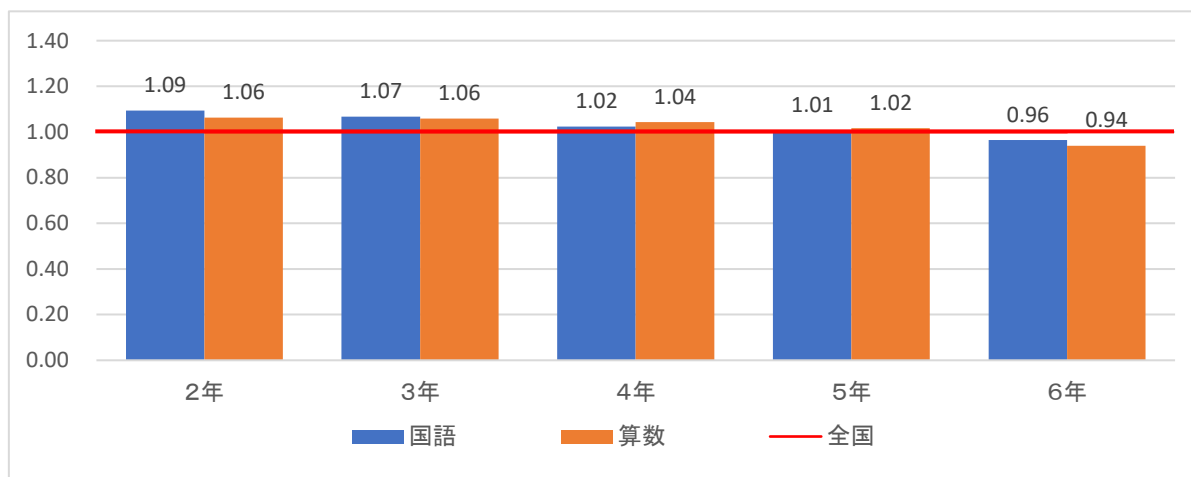


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第一中学校区 東小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	「書くこと」領域では、4学年ともに全国平均正答率を上回っていた。引き続き、校内研究で「伝え合う力を高め、論理的思考力をつけた子どもを育む」授業を推進し、「書くこと」「聞くこと」「話すこと」すべての領域の向上に取り組む。
	算数	「データの活用」領域では、4学年ともにほぼ全国平均を上回っていた。引き続き、基礎基本の定着とともに他教科との横断的学習を通して、既習事項を活用する学習に取り組む。
全国学力・学習状況調査	国語	観点「思考・判断・表現」の記述式の設問が全国平均を上回っていた。引き続き、理由や根拠を明確にしながら自分の考えや思いをまとめる活動を進めていく。
	算数	「数と計算」領域における「知識・技能」を問う設問が全国平均を上回っていた。引き続き、問題文の正確な読み取りと立式や、根拠に基づく説明ができるように学習活動に取り組んでいく。
	質問紙	「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」の肯定的回答が全国平均とほぼ同等であった。引き続き、学校行事やディベートなどの学習活動を通して、協働的に課題解決に取り組む姿勢を育んでいく。

○学力向上の取組

【中学校区】

「考える力・伝える力の育成」をテーマに「聴いて、考えて、つなげる授業」の実践に取り組んでいる。PBISの手法を取入れた授業改善にも努めている。

【学校】

「論理的な思考力を育む」授業研究を進め、授業改善を図っている。また、読書活動や自主学習ノートの推進、「話す」「聞く」の各学年到達目標の設定等、主体的に学ぶ姿勢の育成に努めている。